



Japan Environment Association

# JEA NEWS

財団法人日本環境協会

ニュースレター No.26 2002年6月1日発行



上の絵は、大田区久原小学校5年 東郷佳さんの作品で、「平成14年版環境白書表紙絵コンクール」(環境省・(財)日本環境協会主催)において小・中学生の部 優秀賞(日本環境協会理事長賞)を受賞したものです。

## JEA NEWS No.26 目次

エコマーク情報	2	子どもエコクラブの交流活動について	4
相互認証について	2	環境カウンセラー情報	5
エコマーク商品の認定基準について	2	グリーン購入ネットワーク(GPN)の動向	6
エコマーク商品紹介リーフレット「発見! あなたの身近にエコマーク」	2	世界エコラベリング・ネットワーク(GEN)の動向	7
リーフレット「グリーン購入法特定調達品目とエコマーク」	2	全国星空継続観察・第14回「星空の街・あおぞらの街」全国大会の開催	7
普及啓発パネル「いろいろあるエコマーク商品」が完成	3	子ども環境相談室 リーフレット作成	7
エコマーク認定商品数の推移	3	平成14年版環境白書表紙絵コンクールの結果について	8
エコマークの普及啓発活動報告と今後の予定	3	子ども向け冊子及び地球温暖化問題等を解説した冊子の発行について	8

## 相互認証について

- エコマークでは「複写機」に関して北欧5カ国からなる北欧エコラベル委員会の運営するノルディックスワンとの部分相互認証を4月20日より開始しました。部分相互認証では、一方の機関で認定を受ければ、双方の共通認定基準を満たしていることになり、他方のラベル認定申請の際、その部分の審査については免除されます。審査の迅速化や申請の手間やコストの軽

- 減につながり、エコマークとノルディックスワンの双方の取得希望者には大きなメリットとなります。
- GENの技術支援(TAP)の助成を得て、エコマークを含むアジア4カ国での相互認証の検討を開始しました。詳しくは7ページの「世界エコラベリング・ネットワーク(GEN)の動向」をご覧ください。

## エコマーク商品の認定基準について

- エコマーク新商品類型認定基準No.123「再生材料を使用した建築用製品」が4月20日付で制定されました。制定に伴い同日付で廃止された商品類型がありますので、詳細はホームページなどでご確認ください。
- ノルディックスワンとの間の「複写機」に関する部分相互認証の実施に伴い、エコマーク商品類型No.117「複写機」の当該基準項目を改定し、「共通認定基準」への対応を図りました。

## エコマーク商品紹介リーフレット「発見！あなたの身近にエコマーク」

一般消費者への普及をめざし、エコマーク商品の背景にある環境問題や環境保全上の効果などの情報提供を行い、エコマーク商品への理解を広げることを目的としたシリーズリーフレット「発見！あなたの身近にエコマーク」のNo.4「再生材料を使用したタイル・ブロック」、No.5「古紙のリサイクル製品～トイレトペーパー・ティッシュペーパー～」が完成しました。ご希望の方は、エコマーク事務局までご連絡ください。

No.1「ペットボトルのリサイクル製品」、No.2「文具・事務用品」、No.3「パーソナルコンピュータ」も用意しています。



No.5「古紙のリサイクル製品～トイレトペーパー・ティッシュペーパー～」

## リーフレット「グリーン購入法特定調達品目とエコマーク」

平成14年度のグリーン購入法の特定調達品目の追加などに対応して、エコマーク認定対象商品との比較をした標記リーフレットを作成し、各自治体の関係部署、エコマーク認定企業などに配布しました。ご希望の方

はエコマーク事務局までご連絡ください。なお、本リーフレットの内容はホームページにも掲載されています。

(<http://www.jeas.or.jp/ecomark/index.html>)

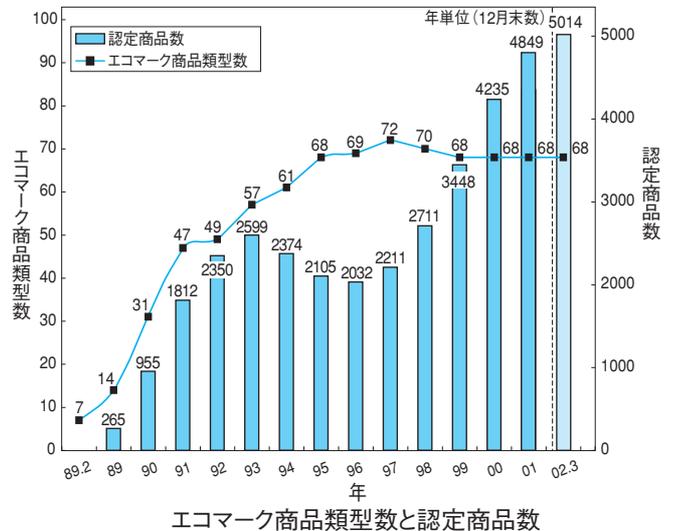
## 普及啓発パネル 「いろいろあるエコマーク商品」が完成

様々なエコマーク商品を掲載したパネル「いろいろあるエコマーク商品」(A1・横型 7枚組)を作成しました。台所、洗面所、庭、オフィスなど家庭や職場のいろいろな場面にエコマーク認定商品を取り入れることを提案したパネルです。ご希望の方に貸し出しをしています。(送料のみご負担いただきます。)



パネルの一例

## エコマーク認定商品数の推移



2002年3月31日現在、エコマーク認定商品数は、5000商品を超えました。合計5,014商品、3ヶ月前に比べ165商品、前年同月比では662商品の増加となっています。

## エコマークの普及啓発活動報告と今後の予定

### <報告>

#### ●「エコマークシンポジウム(東日本地区)」開催の結果報告

本年2月4日、東京ウィメンズプラザホールにおいて「グリーンコンシューマーの輪を広げよう～エコマークが果たす役割」と題するエコマークシンポジウムをグリーンコンシューマー東京ネットとの協賛により開催しました。基調講演の要旨はエコマークニュース第33号およびホームページに掲載しています。

#### ●エコマーク相談会開催の結果報告

4月12日、大阪ATCグリーンエコプラザの協力を得て、第3回エコマーク相談会を開催しました。今回は10社のご相談を受けましたが、「直接、自社製品について詳しく相談できてよい。」と好評をいただいています。今後も、東京以外での相談会開催を検討して参ります。

#### ●エコマークニュース英語版もリフレッシュ

エコマークニュースの英語版を、第31号よりレイアウトを日本語版に合わせてリフレッシュしました。最新号をご希望の方、または今後も入手をご希望の方はエコマーク事務局までご連絡ください。



エコマークニュース英語版

#### ●大阪地下鉄ポスター掲示

4月17日～30日の2週間、エコマークへの関心を喚起することを目的に、ATCグリーンエコプラザの協力を得て、大阪市内の地下鉄駅構内やホーム約130ヶ所にポスターを掲示しました。若干、在庫がありますので、ご希望の方にはお送りします。(送料のみご負担いただきます。)



大阪地下鉄ポスター

### <今後の予定>

- 6月1、2日 エコライフフェア出展(東京・代々木)
- 7月26、27日 信州環境フェア出展(長野市若里)
- 8月24、25日 環境フェア出展(沖縄・宜野湾市)

# こどもエコクラブの交流活動について

## 「こどもエコクラブ全国フェスティバル in おだわら」報告

こどもエコクラブの1年間の活動のしめくくりとして「こどもエコクラブ全国フェスティバル in おだわら」が下記のとおり開催されました。全国フェスティバルは、全国で活動する仲間との交流、一般市民への「こどもエコクラブ事業」の普及啓発を目的としています。

開催日：2002年3月23日(土)、24日(日)

開催場所：神奈川県小田原市 小田原アリーナ(23日)  
小田原城址公園(24日)

主催：環境省、神奈川県、小田原市

協賛：(財)イオン環境財団、小田急電鉄(株)、(社)神奈川県環境保全協議会、神奈川県漁業協同組合連合会、(財)神奈川県公園協会、神奈川県福祉事業協会、カネボウ(株)小田原工場、キリンビール(株)横浜支社、国際ソロプチミスト小田原、コニカ(株)小田原事業場、三共(株)小田原工場、J Aグループ神奈川、ジョンソン・プロフェッショナル(株)、鈴廣かまぼこ(株)、(株)スリーエフ、相鉄ローゼン(株)、トヨタ自動車(株)、東日本旅客鉄道(株)横浜支社、富士写真フイルム(株)小田原工場、松下電器産業(株)(五十音順)

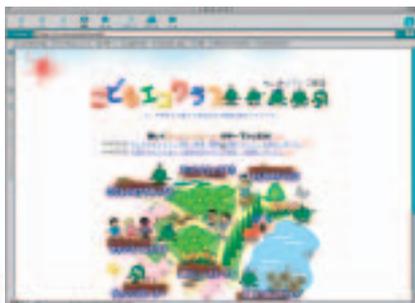
1日目は、各都道府県からの招待クラブ(56クラブ、418名)が参加しました。まずゲームを楽しみながら交流を深めた後、「壁新聞セッション」で、自分たちの1年間の活動をまとめた壁新聞を前にして、日頃の活動の様子や工夫を熱心に取材しあいました。



壁新聞セッションでは、お互いの活動取材しあいました。(1日目)

### こどもエコクラブホームページについて

こどもエコクラブのホームページは、環境省の子どものページ内にありますが、昨年度全面的にリニューアルしました。こどもエコクラブの概要をはじめ、全国のクラブの活動の様子、最新情報などを掲載しています。都道府県別の登録状況や企業・団体等によるパートナーシッププログラムの紹介コーナーもあります。今後もタイムリーに情報を更新していく予定です。ぜひ一度ご覧ください！



<http://www.env.go.jp/kids/ecoclub/>

2日目の一般公開プログラムは例年より早い満開の桜のもと、小田原城址公園に約34,000名もの来場者を迎えました。全国のこどもエコクラブの活動をまとめた「こどもエコクラブ壁新聞」約500枚が小田原城の天守閣や、この日特別公開された銅門の内部などに掲示され、多くの来場者にご覧いただきました。市民グループなどによる竹細工・紙すきなどの体験ブースや、企業・団体等による低公害車や環境配慮商品紹介などのブースを、環境のことを考えながらスタンプラリー形式で楽しくまわりました。最後に、集めたスタンプを組合わせてキーワードを完成させて、ひとしぜんときの「つながり」を考えました。

今回の全国フェスティバルでは、多くの市民・団体からご協力・支援をいただき、地域の方々との交流を深めることができました。関係各位に深くお礼申し上げます。



かまぼこ板を使った組木工作。この他にも60ものブース出展がありました。(2日目)

### 平成14年度こどもエコクラブ募集の案内

4月から新年度の会員募集がはじまっています。お住まいの市区町村環境担当の窓口までお問い合わせください。なお昨年度登録していたクラブも再度登録が必要です。ご不明な点は、(財)日本環境協会 こどもエコクラブ全国事務局まで(TEL:03-3508-2651)

### 「こども環境特派員」事業について

この夏、全国のこどもエコクラブ会員を対象に「こども環境特派員」事業を実施します。

各都道府県から1クラブ(小学4年から6年の児童2人とサポーター1人)を滋賀県に招待します(希望者が多い場合は抽選)。滋賀県の環境学習船「うみのこ」に乗り組んで琵琶湖の水質などを調べるほか、星空観察や昆虫採集やC.W.ニコル氏の講演も予定しています。また、参加時の体験を文章にすると、「特派員」記事として共催する毎日新聞に掲載されます。詳細は下記問い合わせ先まで。

主催：こども環境特派員事業実行委員会

【(財)日本環境協会、滋賀県、滋賀県教育委員会、(財)淡海環境保全財団、毎日新聞社】

予定日：8月4日～6日、参加費：無料

問い合わせ先：滋賀県琵琶湖環境部

エコライフ推進課(TEL:077-528-3491)

# 環境カウンセラー情報

## ●平成13年度環境カウンセラー登録者の決定

平成13年度環境カウンセラー登録制度の面接審査（二次審査）が、2002年1月下旬より2月中旬にかけて大阪・東京の2会場で行われました。その結果、事業者部門223名（うち女性8名）、市民部門193名（うち女性60名）、合計416名の方が登録されました。

単位：人

登録年度	事業者	市民	合計
平成8年度	649	311	960
平成9年度	315	168	483
平成10年度	274	175	449
平成11年度	154	147	301
平成12年度	222	135	357
平成13年度	223	193	416
合計	1,837	1,129	2,966

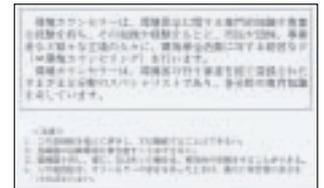
## ●環境カウンセラー登録証発行について

環境カウンセラー登録制度実施規程の一部改正に基づき、カード形式の登録証を発行し、環境カウンセラー登録者の方々にお送りしました。環境カウンセラーとして活動される際に携帯しやすくなりましたのでご活用ください。

見本 表面



見本 裏面



※印には環境大臣印が押印されます。

## ●平成14年度環境カウンセラー募集について

今年度の募集については、7月上旬に「平成14年度環境カウンセラー募集要綱」が出来上がる予定です。募集要綱入手の方法につきましては、6月末頃、虎ノ門本部 担当までお問い合わせください。

## ●環境カウンセラー活用パンフレット

環境省では、環境カウンセラー登録制度を一層有効に活用していただくために、一般の方や事業者向けに、環境カウンセラー登録制度の概要や環境カウンセラーの活用方法、活動事例等をまとめた「環境カウンセラー活用パンフレット」を発行しました。このパンフレットは、各自治体に配布しています。

表紙



〔A4版カラー8ページ〕

P3、P4



※パンフレットご希望の方は虎ノ門本部担当までお問い合わせください。数に限りがありますのでご了承ください。（送料は希望者負担となります。）

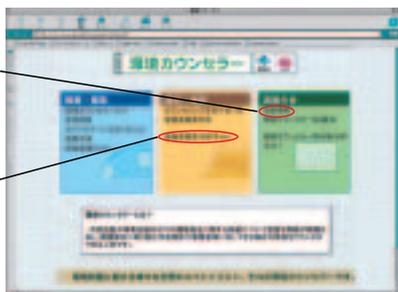
## ●環境カウンセラーホームページ改定

環境カウンセラーについての情報を多くの人にご覧いただくために、環境カウンセラーのホームページを改定しました。環境カウンセラー登録者検索、制度概要、募集のお知らせに加え、活動事例や全国の環境カウンセラー協（議）会情報などが新たに掲載されましたのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.env.go.jp/policy/counsel/index.html>

活動事例

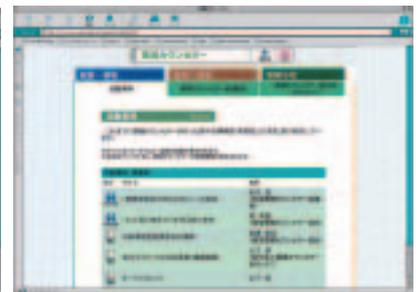
検索画面



トップページ



検索画面



活動事例

# グリーン購入ネットワーク(GPN)の動向

## 小冊子『ひろげよう、グリーン購入。』の作成

GPNでは、この度グリーン購入の新しい啓発冊子『ひろげよう、グリーン購入。』を作成しました。『ひろげよう、グリーン購入。』は、グリーン購入の基本となる考え方をまとめたもので、2001年6月に改定した「グリーン購入基本原則」を基に、グリーン購入に関する様々な情報をイラストや図を使って分かりやすくまとめています。職員への普及や研修用テキスト、展示会での配布物、取引先へのご案内資料として是非ご活用ください。

- 使用：A5版 24ページ、フルカラー
- 対象：主に企業や自治体などの組織購入者
- 価格：1冊100円(GPN会員価格80円)  
※送料は別途ご負担いただきます。
- 注文：申込用紙に必要事項を記入の上、FAXでお申し込みください（申込用紙はGPN事務局へお問合せください）。1,000冊以上のお申込の場合、冊子合計金額から更に10%割引いたします。（GPN会員限り）

### ●『エコどこナビ』登録状況

2月末にオープンした、「エコな商品・サービスを扱う」エコなお店を紹介している『エコどこナビ』ですが、4月現在500以上の店舗が登録されています。ホームページで公開していますので、是非ご覧ください。

<http://machi.goo.ne.jp/eco/>

### ＝目次＝

- 持続可能な社会を築くために、グリーン購入が求められています。
- 原則1. 必要性の考慮
- 原則2. 製品・サービスのライフサイクルの考慮
  - 2-1.環境汚染物質等の削減
  - 2-2.省資源・省エネルギー
  - 2-3.天然資源の持続可能な利用
  - 2-4.長期使用性
  - 2-5.再使用可能性
  - 2-6.リサイクル可能性
  - 2-7.再生材料等の利用
  - 2-8.処理・処分の容易性
- 原則3. 事業者の取り組みの考慮
  - 3-1.環境マネジメントシステムの導入
  - 3-2.環境への取り組み内容
  - 3-3.環境情報の公開
- 原則4. 環境情報の入手・活用
  - グリーン購入ガイドライン
  - グリーン購入法のしくみ
  - 世界のグリーン購入事情
  - グリーン購入の取り組みポイント
  - オフィスで！家庭で！環境を考えたグリーンな1日



## グリーン購入取り組みガイダンス

### ●「グリーン購入取り組みガイダンス」が完成しました

GPNでは、歴代のグリーン購入大賞の入賞団体にご協力いただき、グリーン購入の取り組みの手引きとなる「グリーン購入取り組みガイダンス」を作成しました。このガイダンスは、これまで企業や自治体などがそれぞれ試行錯誤で進めてきたグリーン購入を初めて体系化したもので「方針を立てる」「体制をつくる」「商品の選び方を決める」等のプロセスに分け、ポイントや目標、方向性などを示す実践的な内容になっています。

### ＝目次＝

#### はじめに

- ・グリーン購入の推進について
- ・組織におけるグリーン購入の意義
- ・グリーン購入取り組みガイダンスについて

#### 1.組織的なグリーン購入のポイント

〈グリーン購入実施の流れ〉

#### 2.今すぐグリーン購入を始めるポイント

〈トピックス〉グリーン購入とコストについて

〈グリーン購入のQ&A〉

「グリーン購入に関心はあるが、具体的アクションとして何をしたいのか分からない」という企業や自治体などにとって導入のガイドとなると共に、今後、グリーン購入の取り組みを方向付けることにもなります。

- 対象：購入・調達活動を組織的に行う団体
- 公表：GPNホームページにて概要を公開
  - 全文(25ページ)は有償にて配布(会員団体以外は郵送料込1,500円程度)
  - ※GPN会員専用ページで全文を公開

GPNでは、会員の増加、活動内容の拡大等に対応するため当協会との協力関係を保持するとともに、GPNに「代表」を置くなどを含めた会則を改訂し、運営体制の改善強化を行いました。初代の代表は中原秀樹武蔵工業大学教授が就任しました。

### GPN事務局

TEL：03-3406-5155

FAX：03-3406-5190

ホームページ：<http://www.gpn.jp/>

# 世界エコラベリング・ネットワーク(GEN)の動向

## ●役員会

本年3月18日、ニュージーランドのオークランドにてGEN役員会が開催され、当協会から田口理事他が、出席しました。2002年度の事業の進捗状況の確認や10～11月に開催予定の年次総会をはじめとした一連のイベントのテーマなどについて話し合いをしました。

## ●アジア4カ国相互認証

また、上記役員会では技術支援プロジェクト(TAP)案件として、タイ、日本、台湾、韓国のアジア4カ国のエコラベル制度での「塗料」と「トナーカートリッジ」についての共通認定基準の策定及び、部分相互認証にむけての検討に対して資金提供を行うことが承認されました。検討はタイの機関TEIが主担当となり本年4月より開始され、本年中に共通認定基準を策定することを目指し、現在進行中です。

## ●GEN会員機関紹介

- タイ環境研究所 (TEI、タイ)：1993年設立。「グリーンラベル」プログラムを運営し、昨年より台湾EDFとの2カ国間の相互認証を開始している。
  - 環境開発財団 (EDF、台湾)：1992年設立。「グリーンマーク」プログラムを運営し、相互認証については先駆的な取り組みを行ってきた。
  - 韓国環境マーク協会 (KELA、韓国)：「環境マーク」プログラムを運営。韓国エコプロダクツ展などを主催するなど幅広い活動も行う。
- \*下記ホームページのトップページ「Members」をクリックいただくと、各機関のホームページがご覧になります。

## GEN総務事務局

TEL：03-3508-2662

FAX：03-3508-2656

E-mail：dc3h-mzn@asahi-net.or.jp

ホームページ：http://www.gen.gr.jp

# 全国星空継続観察・第14回「星空の街・あおぞらの街」全国大会の開催

## 1) 平成14年度全国星空継続観察(スターウォッチング・ネットワーク)について

今年度の観察は、下記のとおり予定しています。参加希望の方は、最寄りの自治体(都道府県・政令指定都市・中核市)の気象保全担当課にお申込みください。詳細については、環境省のHP\*をご覧ください。自治体の担当課の連絡先も確認できます。

夏期：2002年7月29日(月)～8月11日(日)

冬期：2003年1月21日(火)～2月3日(月)

\*URL = <http://www.env.go.jp/kids/star.html>

## 2) 第14回「星空の街・あおぞらの街」全国大会開催のお知らせ

今年度も下記のとおり、全国大会が開催されます。参加希望の方は、鹿児島県輝北町(0994-86-1111(内)121、122)までお問い合わせください。

日時：2002年10月12日(土)、13日(日)

会場：鹿児島県輝北町 町民体育館他

主催：環境省、鹿児島県、

「星空の街・あおぞらの街」全国協議会

参加者：全国協議会加入団体、本大会の趣旨に賛同する自治体、企業、住民

# こども環境相談室 リーフレット作成

「こども環境相談室」では、2001年4月～2002年3月までに手紙129件、電話188件、電子メール33件、訪問75件の相談を受けました。前年度と比較して約50件増加し、特に訪問による相談件数は3倍程度増となり、利用者数も約1,100名と2倍以上になりました。相談の多かった環境分野は、地球環境全般、ごみ・リサイクル、森林、エコマークおよび地球温暖化に関するものでした。

当相談室の利用者は急速に増えていますが、さらに幅広く相談用電話番号や電子メールアドレスなどを知っていただくため(財)イオン環境財団の助成を受けて、当相談室の利用について紹介するリーフレットを作成しました。

ご希望の方は、郵便番号、住所、氏名、電話番号及び「相談室リーフレット希望」と明記の上、80円切手を同封してお申込みください。

## 相談方法

手紙：〒105-0003 東京都港区西新橋1-7-2

(財)日本環境協会こども環境相談室宛

TEL：03-3508-2658 (月～金 13:00～17:00祝日は除く)

FAX：03-3508-2570

E-mail：ecobox@e.email.ne.jp

訪問による相談は、当協会に事前に電話、FAXまたは電子メールで予約をしてください。

## 平成14年版環境白書表紙絵コンクールの結果について

環境白書は、毎年政府が環境の現状と環境保全に関する施策を公表するものです。白書の普及と環境保全意識の啓発のため、この表紙を飾る絵を、環境省と当協会の主催により2001年7月から2002年1月末日まで募集しました。募集期間に、「小・中学生の部」807点、「一般(高校生以上)の部」250点と多くの力作が寄せられました。

選考の結果、最優秀賞〈環境大臣賞〉は、兵庫県神戸

市立和田岬小学校3年永野誉玲さんと、広島県のグラフィックデザイナー 堀江豊さんが受賞されました。また、優秀賞〈日本環境協会理事長賞〉は、東京都大田区立久原小学校5年東郷佳さんと、香川県立高松工芸高等学校2年の伊丹彩さんが受賞されました。

受賞されたみなさんには、4月3日に環境省において行われた表彰式で、大木浩環境大臣と加藤陸美理事長から表彰状が授与されました。

## 子ども向け冊子及び地球温暖化問題等を解説した冊子の発行について

地球温暖化について簡単に解説した子ども向けの冊子(A5版 8ページ カラー)「地球温暖化ってなあに?」を発行しました。この冊子はJCCCAホームページのキッズコーナーに掲載しているWEB絵本「ミドリちゃんの旅」をもとに「地球温暖化ってなに?」、「地球が温暖化するとどうなるの?」、「温暖化はもう始まっているの?」、「どうしたらいいの?」というミドリちゃんの疑問に青い靴が答えていきます。

また、地球温暖化問題等を解説した「京都議定書発効に向けてー地球温暖化問題とその対応ー」(A4版 28ページ)及び気候変動枠組み条約について解説した「京都議定書発効への道のりー気候変動枠組条約交渉

の歴史ーフィラハ会議からヨハネスブルグ・サミットへ」(A4版 24ページ)も発行しました。ご希望の方にはお送りします(送料ご負担)。なお、数に限りがありますのでご希望の方は下記連絡先までお早目にお申し込みください。

### 全国地球温暖化防止活動推進センター

TEL : 03-3406-5010

FAX : 03-3406-5190

ホームページ : <http://www.jccca.org>

## お蔭様で日本環境協会設立25周年とJEA NEWS創刊10周年を迎えることができました

1977年3月に日本環境協会が設立されてから本年3月で25年・四半世紀が経過しました。

また、1992年にJEA NEWSが創刊されてから10年が経過しました。

この間、日本環境協会では、公害対策基本法から環境基本法へ、環境庁から環境省へととりまく情勢が大きく変化するなか、環境省をはじめ関係各方面のご指導、ご支援に支えられながら、環境保全に関する知識の普及や環境教育資料の作成・配布、国民生活に伴う環境負荷の低減に配慮したエコマーク事業、全国地球温暖化防止活動推進センターとしての指定など、常に時代に即しつつ、かつ時代を先取りした事業を展開し

てきました。

地球温暖化をはじめとする環境問題解決のために国民一人ひとりの取組や行動が求められている今日、日本環境協会では従来から実施してきた環境保全に関する知識の普及や情報の提供等に加え、国民一人ひとりが環境問題を自分自身の問題として捉え、かつ各主体が「協働」して取組み、行動していく社会づくりの一助となる新たな事業展開に努めてまいりたいと考えています。

日本環境協会設立25周年とJEA NEWSの創刊10周年にあたり、あらためて関係各位のご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

## 藤本倫子環境保全活動助成基金を創設しました

詳しい内容については、TEL03-3508-2651にお問い合わせいただくか、当協会ホームページをご覧ください。

編集・発行/財団法人日本環境協会 <http://www.jeas.or.jp>

虎ノ門本部 〒105-0003 東京都港区西新橋1-7-2 虎の門高木ビル7階

(協会)

(エコマーク事務局 認証課)

(エコマーク事務局 基準課、普及課、GEN総務事務局)

(子ども環境相談室)

青山オフィス 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B2階

(全国地球温暖化防止活動推進センター)

(GPN)

TEL.03-3508-2651 FAX.03-3508-2570

TEL.03-3508-2653 FAX.03-3508-2656

TEL.03-3508-2662 FAX.03-3508-2656

TEL.03-3508-2658 FAX.03-3508-2570

TEL.03-3406-5010 FAX.03-3406-5190

TEL.03-3406-5155 FAX.03-3406-5190

